

麻疹（はしか）の流行について

本年4月より、埼玉県や東京都を中心として、関東地方で麻疹（はしか）が流行しています。横浜市でも4月上旬から、患者の報告が増えています。

1 横浜市内での発生状況

横浜市では84か所の定点医療機関で患者を把握していますが、年間10～500件の発生があります。過去3年間は20件以下の報告でしたが、今年は5月13日の時点で既に23件と、昨年の年間件数を越えています。現在のところ、集団発生の報告はありません。

定点医療機関：患者数等の情報を定期的に報告する医療機関のこと。

【定点医療機関における麻疹発生状況(平成19年5月13日現在)】

年	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19 5.13現在
横浜市	130	236	533	278	174	18	10	16	23
全国	5,875	22,552	33,812	12,473	8,285	1,547	537	520	694

2 麻疹とは

麻疹は麻疹ウイルスによっておこる急性の感染症です。感染後1～2週間してから微熱、せき、鼻水など「かぜ」に似た症状が現れ、38℃をこえる高熱や全身の発疹が4～5日間続いたあと徐々に回復していきます。今日でも特效薬はなく、対症療法が中心です。

3 対策

麻疹の感染力は極めて強く、同じ部屋にいただけでもうつります。感染した方が免疫を持たない場合は、ほぼ100%発病します。

予防接種は有効で、患者の多くは予防接種未接種者です。流行を防ぐためには学校などで集団生活をする前に確実に予防接種を行うことが大切です。

4 横浜市の対応

【情報提供及び注意喚起】

- ・区福祉保健センターで母子手帳配布時や乳幼児健診の際に、日頃から、接種を勧奨
- ・市ホームページのトップページ、健康福祉局及びこども青少年局のホームページに、発生状況等を掲載し、注意喚起
- ・教育委員会が、市内の市立小・中・高等学校に対して情報提供及び患者発生時の対応等について周知

【状況把握】

- ・市内小・中・高等学校、保育所等と連携し、患者の発生状況を随時把握

【予防接種】

- ・生後12～24か月未満の方（期）及び5歳～7歳未満で小学校入学1年前の4月1日～入学する年の3月31日までの方（期：いわゆる幼稚園年長の年）には、定期予防接種として公費負担で予防接種を実施
- ・予防接種未接種者の任意接種について、横浜市医師会を通して市内医療機関に協力を依頼